視察研修報告

庁舎の今後のあり方について
議会運営委員会

視察研究先
○7月16日（木）山梨県市川三郷町
○7月17日（金）神奈川県二宮町

市川三郷町においては、財政非常事態宣言の発出をきっかけに、時代の変化に対応できる質の高い行政組織の構築を図り、段階的に分庁舎を本庁舎へ統合することとした。

二宮町においては、耐震診断で庁舎倒壊の危険性が指摘され、新たな場所への庁舎移転による公共施設の再編に至っている。

本町の庁舎機能の再編には一定の時間を要することから、老朽化や耐震補強された庁舎においても現状の行政サービスの水準を維持しつつ、発展的な行政需要の変化を視野に入れ、庁舎の今後のあり方について早急に継続的な検討を開始すべきである。



地域公共交通のあり方について
総務産業建設常任委員会

視察研究先
○7月13日（月）長野県塩尻市
○7月14日（火）長野県中野市

塩尻市におけるレベル4自動運転バスの運行は、道路環境等において多くの課題が確認され、本町において、現時点での導入は困難といえる。

中野市におけるオンデマンドタクシーは、利用実績は限定的であったものの、施策の効果を客観的に検証し、成果が得られない場合には改善や撤退を適切に判断する姿勢は、今後の行政運営において参考とすべき点である。

結びに、効果の乏しい施策については改善や撤退を判断する基準を設けること及び将来的な先進技術の導入を見据え、町として明確な方針を定め、必要な準備を進められたい。



義務教育学校について
文教厚生常任委員会

視察研究先
○7月9日（木）茨城県河内町
○7月10日（金）茨城県小美玉市

少子化が進行する本町において、義務教育学校は、学校再編の選択肢として有意義な制度と考えられる。

しかし、視察先の両校とも義務教育学校として校舎を新築して整備している一方、本町においては、既存校舎を活用した義務教育学校の整備は施設規模の面から困難な状況であり、新築整備には多額の財政負担を伴うことから、中長期的な視点で慎重に検討する必要がある。

結びに、視察先での義務教育学校の整備には長期間を要しており、当委員会において実施した「学校の今後のあり方に関するアンケート調査」の結果を踏まえ、早急に審議いただくことを要望する。



編集後記

今年の夏は、例年とは異なる降雨量と、それに伴う停電が多く生じました。突然の停電や災害に慌てないためにも、普段からの準備が大切であることを再認識しました。

9月の定例会は、決算に関する審議を行う議会であり、執行部との活発な質疑応答が交わされ、全ての決算認定等が賛成全員で可決されました。そして、9名の議員の一般質問も熱く感動的な部分がありました。こちらは、各議員のQRコードからご覧ください。

議会も新体制になり、三度目の議会だよりを発行することができました。今後も町民の皆様との架け橋となり邁進して参ります。

議会報編集委員会
委員長　神山　俊
副委員長　髙橋　浩美
神山　由絵
小野田直幸
小室　初江
笠井　洋昭

ときがわ町議会だより　第83号　令和8年10月23日発行
発行・編集／ときがわ町議会
ときがわ町議会報編集委員会
〒355-0396 埼玉県比企郡ときがわ町大字桃木32番地
☎0493(65)1521(代)

VEGETABLE OIL INK

この議会だよりは、
議員の自主編集で発行しています。

防災行政無線テレホンサービス（無料）
TEL 080-0800-8432（携帯電話からも可）